

10月20日（水）に、東大阪市シルバー人材センターから就業開拓員の方2名に来学いただき、講演をしてもらいました（豊山ゼミ）



講演前に豊山ゼミCチーム（+1）と就業開拓員の福田さん（中央右）と島田さん（中央左）

2010年10月20日（水）10:40から、東大阪市シルバー人材センターの就業開拓員の福田さん、島田さんに来学いただき、ゼミ教室で講演をしていただきました。最初30分ほどお2人にお話しいただき、その後質疑応答に移り、活発なやりとりが交わされました。シルバー人材センターは60歳以上の高齢者に臨時的、短期的、軽易の仕事を紹介することを主な活動としています。そんななかで**就業開拓員はセンターに仕事を発注してくれる企業を探するという重要な役割**を担っています。福田さんは「ピーク時の2007（平成19）年度には契約金総額が8億円を超えていたが、現在は7億2000万円くらいになっている。その理由の1つに、2008年のリーマンショック以降の世界的な大不況がある」とおっしゃっていました。「**リーマンショック**」…確かに授業では聞きました（意味はわからなかったけど）。でも私たちには遠い世界の話だと思っていました。それが、私たちが月に2回手伝いに行っている入会説明会・入会申込者講習会の現場で大きく影響している。「就業開拓員として200人くらいに仕事につかせたが、リーマンショック以降の不況のせいで、70人くらいが就業取り消しとなって帰ってきた。そうした人を見るのが一番つらい」と福田さんは言っていました。ゼミ生の木澤君が「1日に何件くらい回るのか」と質問したとき「多いときで15件。年間で1300件くらい。飛び込みで行くと『東大阪市〇〇〇』という名前を持っていても3~4割は断られる。民間会社だと9割くらいは断られる」という答えが返ってきました。**営業の難しさの一端を垣間見た感じがしました。**



学生の質問に答えるお2人